

3月の行事予定



よろしくおねがいします

- 1日(金) 誕生会・ひなまつり
- 5日(火) ニューゼalandホッケー選手交流
- 6日(水) 卒園旅行
- 7日(木) 健脚活動⑤
- 8日(金) 熊山登山(そら組)
- 12日(水) 避難訓練
- 13日(木) お別れ会
- 15日(金) 卒園式(そら組)
- 19日(火) 火災予防運動(そら組)
- 29日(金)・30日(土) 自由登園

そら組が岡山城に行きます。



3月より小橋菜果がフリー職員として育児休暇復帰します。

保育補助員の小川奈見です。

※行事は変更する場合があります。ご了承ください。

- ① 特技 ② 趣味 ③ ひとこと

職員紹介&いいことさがし

今月は児童発達支援・放課後等デイサービスかえでの家の3人の紹介です。

さいとう あゆむ 齊藤 歩 (かえでの家)

- ① 木登り(免許持ってます)
- ② スポーツ観戦
- ③ 特ににし組から人気です。(気が合います。)

齊藤さんはいろいろなことを知っていて、自分の知らない知識に驚かされることがよくあります。(岡野より)

おかの ゆき 岡野 由希 (かえでの家)

- ① 弓道
- ② ライブに行くこと(好きなアーティストのためには全国どこまでも)
- ③ とよたならではのいい刺激を日々もらっています。

岡野さんはいつも朗らかでとても話しやすいです。笑顔が素敵なお方です。(富岡より)

とみおか 富岡 ひとみ (かえでの家)

- ① ピアノを弾くこと
- ② おいしいもの探し
- ③ いつも子どもたちから元気もらっています。

子どもたちの癒し(オアシス)です。私に頼んでもダメそうなので、富岡さんのところに行く子どもが多いです。(齊藤より)

↓お互いのいいところを伝え合っています↓



2月18日に、赤磐市吉井で開催された、吉井つちのこ駅伝大会に法人内で5チーム、とよた保育園とかえでの家からは5名が参加しました。日頃の運動不足解消?(そうでない人もいますが...)をうたい、日々少しずつ練習。

当日は、タスキをつなぐことの重みや、みんなで応援することの楽しさ、達成感...などいろいろなことを感じられる日となりました。来年はとよた保育園保護者チームがうまれることを期待しています。

かえでの家



社会福祉法人岡山こども協会 とよた保育園
赤磐市松木 549 TEL 995-0244
令和6年3月5日発行 309号



「ともに」

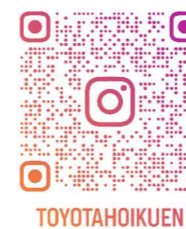
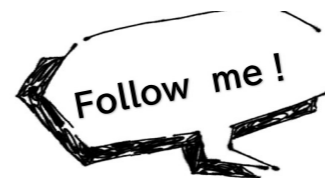
かえでの家が開所して5ヶ月が経ちました。「かえでの家」という名前は楓の花言葉と、とよた保育園に入ってすぐの真ん中にかえでの木があることから名前を付けました。

現在は放課後等デイサービスの小学生が通所していて、職員は学校の様子や興味のあることを知りたくて、子どもたちが小学校から帰って来て「帰りました」の声が聴こえてくると、交代で話しかけています。次々に話しかけられて恥ずかしさもありますが、応えてくれます。また、保育園児にも優しく声をかけて一緒に遊んでくれるので姿が見えると急いで側へ行ったり、ゆき組の子は辛くて泣いたりしていても大好きなお兄ちゃんが来てくれると涙が止まります。こんな姿を見ながら、お互いの子どもたちが自然と関わり、生活を共にし、1つの場所で過ごす姿を見ながら「いいな」「嬉しいな」と感じました。当たり前という言葉かもしれませんが職員も子どももみんなが笑顔になっているのです。いろいろな場面を見ながら、子どもたちにとって笑顔あふれる場、共に過ごし安心できる場作りを大切にしたいなと思いました。

4月よりまた、新たに小学生の子どもたちも通所します。楓の花言葉の中に『大切な思い出』という言葉があります。この施設で過ごす中でたくさんの思い出作りができるように、試行錯誤しながら双方の職員が協働し、子どもたちの育ちを支え、保護者の方にも安心感が得られるようにしたいです。

最後に、今年度残り一ヶ月となりましたが、保育園へのご理解、ご協力ありがとうございます。日々、子どもたちとたくさん遊び、笑いながら過ごします。

岡村 里恵



とよた保育園公式InstagramのQRコード



とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>

つき組・ほし組

ありがとうの思いを込めて

そら組が卒園をするに向けて、プレゼント作りをしています。今回は折り紙でチューリップを作りました。つきほし組がペアになりました。つき組の子が「こどうするの？」と困っている表情をしているとすかさずほし組の子が「この線に合わせて折るんだよ」と優しく伝えていました。

一緒に遊んでくれたり、助けてくれたりしたそら組さんのことを思いながら、協力してプレゼントを作るつきほし組の姿にこの1年、一緒に過ごしてきたこともたちの絆や、一人ひとりの大きくなった姿を感じることができました。



そら組

気持ちに寄り添って

就学に向けて午睡の時間があそびの時間に変わったことでじっくりとそら組のことも同士で関わって遊ぶようになっていきました。「今日、〇〇してあそぼう」「一緒に△△しよう」と声をかけ合いそれぞれで遊んでいるのですが、なぜかいつもカードゲーム（ハリガリ）と積木やドミノの2パターンに分かれています。特に人気のあそびはドミノ。集中して作っていますが途中で足が当たってしまったり、置いたはずのドミノが倒れてしまったりすることもあり、悔しい気持ちになることもあります。ですが、「当たってしまった」「ごめん」とすぐに声をかけることができ「いいよ、また、直すから大丈夫」と互いに気持ちよく過ごせることが増えました。自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを考えることは難しいことですが、葛藤しながら受け入れ、相手の気持ちに寄り添う姿に嬉しく感じました。

あたたかい人間関係を求めて



にじ組

友だちを思いやる気持ち

気の合う友だちが増え、生活の中で友だちと関わり合おうとする姿が見えます。例えば玩具を「貸して」「いいよ」とやり取りしたり、絵本を見ながら「これ見て面白いよ」「ほんとだね」と見せ合ったりしています。自分のしたいことを言葉で伝えたり、楽しいことを友だちに伝えたり、自然と行動したりすることもたちの姿に成長を感じます。

時には玩具の取り合いや順番待ちで友だちとのトラブルもありますが、周りで見っていた友だちが「今、Aさんが持っていたやつだよ」「先に行ってもいいよ」と声をかけることもあり、それでトラブルが解決することもあります。大人が仲立ちしなくても子ども同士で解決することもありました。

この一年、共に生活することで、お互いのことに気が付き、思いやる気持ちが子どもたちの中に確かにあるように感じます。



はなゆき組

参加保育を通じて感じること

今年度から参加保育が再開しました。保護者の方が来られると、はなゆき組の年齢の子どもたちも嬉しくて、「Bさんのママ」と声を掛けたり、ひざにちょこんと座ったりそれぞれのタイミングで甘えています。保護者の方のまわりにみんな集まっていき、自然に関わっています。保護者の方も喜んで子どもたちと遊んでくださいます。そういえば、ボランティアや実習生が入った時も、子どもたちは至って普段通りのような気もします。日頃からのいろいろな方との関わりのなかで育ってきた心の育ちなのかなと思います。これからもみんな大好き。安心して甘えていいよという、人同士の関わりを大切にしていきたいなと思います。

